

5年生習熟度別学習計画 5年 少数のかけ算

1時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	除数が帯少数の場合に、除数の式に表すことができることを、テープ図や数直線などを用いて理解し、その計算方法を既習の整数で割る計算に帰着させて見いだすことができる		除数が帯少数の場合に、除数の式に表すことができることを、テープ図や数直線などを用いて理解し、その計算方法を既習の整数で割る計算に帰着させて見いだすことができる		除数が帯少数の場合に、除数の式に表すことができることを、テープ図や数直線などを用いて理解し、その計算方法を既習の整数で割る計算に帰着させて見いだすことができる	
評価規	除数が少数の割り算について、整数の割り算に帰着させて考えることができた<見方・考え方>					
問題	リボン2.4mの代金が96円です。このリボン1mの値段はいくらでしょう					
課題	96÷2.4の計算の方法を考えよう					
学習活動	<b>主な学習活動</b> ・問題提示 ・問題から見通しを持ち式をたてる。 ・課題提示 ・計算の方法について個人追求する 式から考える 数直線から考える ・はかせどんの方法について考える ・全体交流 数・被除数を10倍して求められることを説明できる ・力試し問題に取り組む	<b>個の指導・援助</b> ・なぜ10倍することがよいか説明ができることを求める。 ・M Iの追求に配慮する ・他の考えとの違い、すごさを見つけさせる ・わり算が使えること、1の大きさを求めることが理解できる	<b>主な学習活動</b> ・整数÷整数を解く ・問題提示 ・テープ図や数直線に表し立式し、言葉の式をもとに式について話し合う ・課題提示 ・計算の仕方を考える(個人追求) ・整数÷整数に式変形できないか考える(ペア交流) ・除数・被除数に10倍して求められることを押さえる(全体交流) ・練習問題	<b>個の指導・援助</b> ・整数÷整数の問題を解き立式の仕方や、1mを単位数とした考え方を思い出させる ・実際にテープを用意し、整数の問題と式の関係が同じになっていることから立式させる ・言葉の式を押さえる 代金÷長さ=1mのねだん ・数直線の書き方を確認 ・除数・被除数に同じ数をかけても商は同じであることを確認 ・定着が不十分な児童に、個別指導を行う	<b>主な学習活動</b> ・数値が整数である割り算の問題を解く ・問題提示 ・テープ図や数直線に表し立式し、言葉の式をもとに式について話し合う ・課題提示 ・整数÷整数に式変形できないか考える ・2.4mの10倍の24mの代金から1mの値段を求める ・練習問題	<b>個の指導・援助</b> ・数値を整数にした問題を解き立式の仕方や、割り算を復習する ・実際にテープを用意し、復習問題と数量の関係が同じになっていることから立式させる ・言葉の式にあてはめ 代金÷長さ=1mのねだん であることを押さえる ・数直線をもとに数値を整数に変換し、言葉の式に当てはめさせ1mの値段を求める ・定着が不十分な児童に、個別指導を行う
2時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	除数が純少数の場合でも、除数の式に表すことができることを理解し、計算方法を見いだすことができる		除数が純少数の場合でも、除数の式に表すことができることを理解し、計算方法を見いだすことができる		除数が純少数の場合でも、除数の式に表すことができることを理解し、計算方法を見いだすことができる	
評価規	除数が純少数の場合でも、除法の式に表してよいことが分かる。<知識・理解>					
問題	リボン0.8mの代金が48円でした。リボン1mの値段はいくらでしょう。					
課題	48÷0.8の計算の方法を考えよう					
学習活動	<b>主な学習活動</b> ・問題提示 ・問題から見通しを持ち式をたてる。 ・課題提示 ・計算の方法について個人追求する 式から考える 数直線から考える ・はかせどんの方法について考える ・全体交流 数・被除数を10倍して求められることを計算や数直線から説明できる ・力試し問題に取り組む	<b>個の指導・援助</b> ・前時との違いを見つけさせる ・除数が1より小さいことに気づかせる ・1mのねだんは48円より多いか少ないかを考えさせることで商の見当をつける ・数直線上での値の位置を見させる 0, 1mの代金から1mの代金を求める方法も取り上げる	<b>主な学習活動</b> ・前時の復習 代金÷長さ=1mのねだん 除法に関して成り立つ性質 ・問題提示 ・前時と違い、除数が純少数であることに気づく ・言葉の式に当てはめ、立式する ・課題提示 ・商の見当をつける ・数直線をもとに考えさせる(個人追求) ・前時の考え方をもとに1mの値段を求める(ペア交流・全体交流) ・数直線などをもとに、割り算でも被除数より小さくなるものもあることに気づかせる ・練習問題	<b>個の指導・援助</b> ・言葉の式・除法に関して成り立つ性質を思い出させる ・1mの単位数あたりの値段を求めることを確認する ・前時と違う部分に線を引き、課題を明確にする ・数直線をもとに考える(個人追求) ・数直線で数量関係を説明し合う(ペア・全体交流) ・定着が不十分な児童に、個別指導を行う	<b>主な学習活動</b> ・前時の復習をし、 代金÷長さ=1mのねだん であることをおさえる ・問題提示 ・前時と違い、除数が純少数であることに気づく ・根拠を明らかにし、立式する ・課題提示 ・前時の考え方をもとに、0.8mの10倍である8mの代金から1mの値段を求める ・数直線などをもとに、割り算でも被除数より小さくなるものもあることに気づかせる ・練習問題	<b>個の指導・援助</b> ・言葉の式をもとにすれば、代金を求めやすいことを確認する ・ノートに立式の根拠を書かせる ・前時と違う部分に線を引き、課題を明確にする ・数直線をもとに数値を整数に変換し、言葉の式に当てはめさせ1mの値段を求める ・数直線で数量関係を視覚的にとらえる ・定着が不十分な児童に、個別指導を行う
3時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	整数÷小数の計算原理、筆算方法を理解し、計算することができる		整数÷小数の計算原理、筆算方法を理解し、計算することができる		整数÷小数の計算原理、筆算方法を理解し、計算することができる	
評価規	整数÷小数の筆算の方法がわかる<知識・理解>					
問題	3.2mの鉄の棒をはかったら、16kgでした。この鉄の棒1mの重さは何kgでしょう					
課題	はかせどんで16÷3.2の計算をしよう					
学習活動	<b>主な学習活動</b> ・問題提示 ・問題から見通しを持ち式をたてる。 ・課題提示 ・計算の方法について個人追求する 式から考える 数直線から考える ・はかせどんの方法について考える ・全体交流 数・被除数を10倍して求められることを計算や数直線から説明できる ・力試し問題に取り組む	<b>個の指導・援助</b> ・前時との違いを見つけさせる ・ひっ算において小数点が右へ一つ移動するわけを説明できる ・78÷0.3の計算の仕方を考えさせる ・計算の確かめができる ・自分の言葉でまとめることができる10倍したときは右へ一つ小数点が移動する	<b>主な学習活動</b> ・問題提示 ・言葉の式と数直線を用いて立式する ・商に見当をつけて計算する ・160÷32を筆算でする児童を見つけて課題を提示 ・割り算を素早く計算するために筆算があることに気づく ・小数の割り算である筆算の方法を考える(個人追求・ペア交流) ・ポイントを押さえる(全体交流) ・練習問題	<b>個の指導・援助</b> ・問題の内容をとらえて立式させる 重さ÷長さ=1m分の重さ 言葉の式と数直線を使わせる ・1mの単位数あたりの重さを求めることを確認する ・前時の考えから、計算させる ・自然に筆算を使う児童を見つけたら ・わり算の筆算を使うことで、はかせどんで計算できることを理解させる ・定着していない児童に個別指導を行う	<b>主な学習活動</b> ・復習問題として、数値が整数になっている問題を解く ・問題提示 ・数値が小数であることに気づき、復習事項をもとに立式する ・課題提示 ・前時の考えから、3.2を10倍した重さから1mの重さを求める ・割り算を素早く計算するために筆算があることに気づく ・小数の割り算である筆算の方法を理解する ・練習問題	<b>個の指導・援助</b> ・問題を解き 重さ÷長さ=1m分の重さ と言葉の式でまとめる ・復習問題と異なる部分を見つけさせる ・数値が違うだけで、立式は同じであることを理解させる ・前時の考えから、計算の方法を考えさせる ・わり算の筆算を使うことで、はかせどんで計算できることを理解させる ・定着していない児童に個別指導を行う

4時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	小数÷小数の式表示と計算原理が理解でき、立式したり筆算で求めることができる		小数÷小数の式表示と計算原理が理解でき、立式したり筆算で求めることができる		小数÷小数の式表示と計算原理が理解でき、立式したり筆算で求めることができる	
評価規	小数÷小数の計算ができる<表現・処理>					
問題	1.4mの鉄の棒の重さを量ったら、5.6kgでした。この鉄の棒の1mぶんの重さは何kgでしょう					
課題	5.6÷1.4を計算の仕方を考えよう					
学習活動	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助
	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>問題から見通しを持ち式をたてる。</li> <li>課題提示</li> <li>計算の方法について個人追求する</li> <li>式から考える</li> <li>数直線から考える</li> <li>はかせどんの方法について考える</li> <li>全体交流</li> <li>除数、被除数とともに10倍すると小数点は右へ一つ移動することが説明できる</li> <li>力試し問題に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5, 6÷1, 4の商の見当を6程度とつける</li> <li>除数、被除数とも整数化するのではなく除数を整数化すればよいことは発展的に扱う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>割る数も、割られる数もが小数であることに気づく</li> <li>商の見当をつける</li> <li>課題提示</li> <li>横の式と筆算の両方で考える(個人追求)</li> <li>考えを説明し合う(ペア交流・全体交流)</li> <li>小数÷小数の計算でも筆算が使えることを理解する</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の内容をとらえて立式させる</li> <li>重さ÷長さ=1m分の重さ</li> <li>言葉の式と数直線を使う</li> <li>1mの単位量あたりの重さを求めることを確認する</li> <li>前時の考えから、計算させる</li> <li>小数点の移動に注目させる</li> <li>わり算の筆算を使うことで、はかせどんで計算できることを理解させる</li> <li>定着していない児童に個別指導を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復習問題として、数値が整数になっている問題を解く</li> <li>問題提示</li> <li>割る数も、割られる数もが小数であることに気づき、復習事項をもとに立式する</li> <li>課題提示</li> <li>既習事項をもとに、1.4mを10倍した重さから1mの重さを求める</li> <li>小数÷小数の計算でも筆算が使えることを理解する</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の考え方である重さ÷長さ=1m分の重さ</li> <li>という言葉の式から立式させる</li> <li>復習問題ともとなる部分を見つけ出し、数値が変わっても立式の仕方は変わらないことを理解させる</li> <li>第2時の考え方をもとに、被除数・除数とも10倍し答えを求めさせる</li> <li>前時から、はかせどん計算は筆算であることを想起し、小数÷小数を筆算で計算させる</li> </ul>
5時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	小数を小数でわる除法で、わりきれぬまでわり進む筆算の仕方を理解し、筆算の方法をまとめることができる		小数を小数でわる除法で、わりきれぬまでわり進む筆算の仕方を理解し、筆算の方法をまとめることができる		小数を小数でわる除法で、わりきれぬまでわり進む筆算の仕方を理解し、筆算の方法をまとめることができる	
評価規	小数÷小数の筆算ができる<表現・処理>					
問題	面積が24.7cm <sup>2</sup> の長方形があります。たての長さが3.8cmのとき横の長さは何cmでしょう					
課題	小数÷小数を筆算で求めてみよう					
学習活動	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助
	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>問題から見通しを持ち式をたてる。</li> <li>課題提示</li> <li>計算の方法について個人追求する</li> <li>式から考える</li> <li>数直線から考える</li> <li>はかせどんの方法について考える</li> <li>全体交流</li> <li>わりきれぬところまで計算し小数点の移動した位置を基準にし、商に小数点をうつつことを説明できる</li> <li>力試し問題に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面積を求める公式にあてはめてから式をたてる</li> <li>商の小数点の位置を確認する</li> <li>わり進むことを理解させる</li> <li>小数でわるひっさんの仕方を全体的にまとめることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復習問題として、面積とたての長さが整数である問題を解く</li> <li>言葉の式を確認する</li> <li>面積÷たて=よこ</li> <li>問題提示</li> <li>商の見当をつける</li> <li>言葉の式をもとに、立式する</li> <li>課題提示</li> <li>筆算で計算する(個人追求)</li> <li>わりきれぬところまで計算し小数点の移動した位置を基準にし、商に小数点をうつつことを確認する(全体交流)</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面積÷たて=よこ 言葉の式を考えさせる</li> <li>言葉の式にあてはめて立式させる</li> <li>筆算で小数÷小数の計算をする方が、はかせどんで解くことができることをおさえる</li> <li>割り切れるまで計算をし、小数点の位置を考えさせる</li> <li>小数点が移動したところに、着目させつつ位置を全体でおさえる</li> <li>定着していない児童への個別指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復習問題として、面積とたての長さが整数である問題を解く</li> <li>面積÷たて=よこ であることをおさえる</li> <li>問題提示</li> <li>言葉の式をもとに、立式する</li> <li>課題提示</li> <li>筆算で計算する</li> <li>数がわりきれぬことに気づく</li> <li>わりきれぬところまで計算し小数点の移動した位置を基準にし、商に小数点をうつつ</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復習問題から面積÷たて=よこ と言葉の式でまとめさせる</li> <li>復習問題と異なる部分を見つけ出し、数値が変わっても立式の仕方は変わらないことを理解させる</li> <li>筆算で小数÷小数の計算をする方が、はかせどんで解くことができることをおさえる</li> <li>割り切れるまで、計算をし小数点の位置を考えさせる</li> <li>小数点が移動したところに、着目させつつ場所を全体でおさえる</li> </ul>
6時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	少数で割る除法で、除数が1より大きい小さいかで、商と被除数との大小関係を見分けることができる		少数で割る除法で、除数が1より大きい小さいかで、商と被除数との大小関係を見分けることができる		少数で割る除法で、除数が1より大きい小さいかで商と被除数との大小関係を見分けることができる	
評価規	除数の大きさによって、商と被除数の関係を判断することができる					
問題	1.2mの重さが8.4gの針金と、0.7mの重さが8.4gの針金があります。1mの重さを求めてみよう					
課題	割り算なのに、商が割られる数より大きかったり、小さかったりするのなぜか、はっきりさせよう。					
学習活動	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助
	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>問題から見通しを持ち式をたてる。</li> <li>課題提示</li> <li>計算の方法について個人追求する</li> <li>式から考える</li> <li>数直線から考える</li> <li>はかせどんの方法について考える</li> <li>全体交流</li> <li>一般化をはかるため、違う数値で商と被除数との大小関係の法則を見つける</li> <li>力試し問題に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わり算なのに商が増えることに気づかせる</li> <li>わる数の大きさをもとにして商とわられる数の大小関係について話し合う。</li> <li>数直線で表したものをもとに、1を基準にして変化が起きることを視覚的にとらえさせる</li> <li>計算をしないで比べることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>問題の内容を理解する</li> <li>既習事項をもとに、立式する</li> <li>課題提示</li> <li>答えの見当をつける</li> <li>言葉の式・数直線・筆算を使って考えさせる(個人追求)</li> <li>8.4÷1.2</li> <li>8.4÷0.7</li> <li>答えを出し、気づいたことをまとめる(ペア交流)</li> <li>割り算なのに、商が被除数より大きくなっていることを確認する</li> <li>一般化をはかるため、違う数値で商と被除数との大小関係の法則を見つける(全体交流)</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数のわり算の計算方法と割り切れるまで計算する方法(筆算)の揭示物を用意しておく</li> <li>具体物で問題の内容を理解させる</li> <li>2つ式が必要でその商を比べる</li> <li>数直線で数量関係を表し、視覚的にとらえさせる</li> <li>求めた商と被除数の大小関係に着目させる</li> <li>数直線で表したものをもとに、1を基準にして変化が起きることを視覚的にとらえさせる</li> <li>定着が不十分な児童に個別指導をおこなう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数÷小数の計算方法を確認する</li> <li>問題提示</li> <li>既習事項をもとに、立式する</li> <li>筆算を使って</li> <li>8.4÷1.2</li> <li>8.4÷0.7</li> <li>7の商をもとめる</li> <li>割り算なのに、商が被除数より大きくなっていることを確認する</li> <li>課題提示</li> <li>数直線をもとに割り算でも、商が被除数より大きくなることを確認する</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数のわり算の計算方法と割り切れるまで計算する方法(筆算)の揭示物を用意しておく</li> <li>揭示物をもとに、考えさせる</li> <li>数直線で数量関係を表し、視覚的にとらえさせる</li> <li>求めた商に着目させる</li> <li>わり算であるが、商が被除数より大きくなっていることを確かめる</li> <li>数直線で表したものをもとに視覚的にとらえさせる</li> <li>定着が不十分な児童に個別指導をおこなう</li> </ul>

7時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	あまりのある小数の除法を、数直線で考えたり、 $0.1$ のいくつ分で考えたりすることで、あまりの意味や大きさが理解できる		あまりのある小数の除法を、数直線で考えたり、 $0.1$ のいくつ分で考えたりすることで、あまりの意味や大きさが理解できる		あまりのある小数の除法を、数直線で考えたり、 $0.1$ のいくつ分で考えたりすることで、あまりの意味や大きさが理解できる	
評価規	あまりのある小数の割り算の計算が理解できる<知識・理解>					
問題	3.2mのひもを、0.6mずつきってアクセサリーをつくります。0.6mのひもは何本切りとれるでしょう					
課題	あまりは、2mなのか、0.2mなのかはっきりさせよう					
学習活動	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助
	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>問題から見通しを持ち式をたてる。</li> <li>課題提示</li> <li>計算の方法について個人追求する式から考える</li> </ul> <p>数直線から考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はかせどんの方法について考える</li> <li>全体交流</li> <li>あまりのあるわり算ではあまりの小数点はわられる数もとの小数点にそろえて打つ</li> <li>力試し問題に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>割り切れないということからあまりのあるわり算はどうやって求めるのかという課題の設定をする</li> <li>ひっさんに現れるあまりの意味が理解できるために<math>0.1</math>のいくつ分かを考えさせる</li> </ul> <p><math>0.6 \times 5 + 0.2</math></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数の問題で、確かめ算の仕方を復習する</li> <li>問題提示</li> <li>復習事項をもとに、立式する</li> <li>実際にひもを手にとって、余りがあることに気づく</li> <li>課題提示</li> <li>言葉の式・数直線・筆算で求める(個人追求)</li> <li>余りは2mか0.2mかのどちらが正しいかを確かめ算で確認する(ペア交流)</li> <li>筆算をつかって、あまりの小数点のうちかたを押しさえる</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数の問題から、等分除の考え方であることを考えさせる</li> <li>確かめ算の仕方を思い出させる</li> <li>具体物を用意し、視覚的にとらえさせる</li> <li>「どん」な時も3つの考え方を使えるようにさせる</li> <li>答えの書き方を指導する</li> <li>確かめ算をさせる</li> <li>全体の中で、小数点をうつ位置を確認する</li> <li>定着が不十分な児童に個別指導をおこなう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値が整数の問題を解く</li> <li>問題提示</li> <li>復習事項をもとに、立式する</li> <li>筆算で計算し割り切れないことに気づき、あまりの表し方について考える</li> <li>課題提示</li> <li>実際にひもを用意し、0.6m(60cm)づつ切り取り、余りを求める</li> <li>あまりは、0.2mであることを確認する</li> <li>筆算をつかって、あまりの小数点のうちかたをしる。</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復習問題から、等分除の考え方であることをおさえる</li> <li>具体物を用意し、視覚的にとらえさせる</li> <li>復習問題と異なる部分を見つけ出し、数値が変わっても立式の仕方は変わらないことを理解させる</li> <li>筆算の方法を忘れた児童には、掲示物をもとに考えさせる</li> <li>3.2m分のひもを、実際に切り取り余りを確かめる</li> <li>全体の中で、小数点をうつ位置を確認する</li> <li>定着が不十分な児童に個別指導をおこなう</li> </ul>
8時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	小数でわる除法で、商を四捨五入して、 $1/100$ の位まで求めることができる		小数でわる除法で、商を四捨五入して、 $1/100$ の位まで求めることができる		小数でわる除法で、商を四捨五入して、 $1/100$ の位まで求めることができる	
評価規	小数の除法で、わりきれない余りを、 $1/100$ の位で四捨五入できる<表現・処理>					
問題	面積が $20\text{cm}^2$ の長方形の形をした池をつくります。横の長さを4.8mにするには、たての長さを何mにすればいいでしょう。					
課題	四捨五入をして余りを表してみよう					
学習活動	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助
	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>問題から見通しを持ち式をたてる。</li> <li>課題提示</li> <li>計算の方法について個人追求する式から考える</li> </ul> <p>数直線から考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はかせどんの方法について考える</li> <li>全体交流</li> <li>あまりのあるわり算ではあまりの小数点はわられる数もとの小数点にそろえて打つ</li> <li>力試し問題に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5時のノートや掲示物から</li> <li>面積÷よこ(たて)=たて(よこ)の言葉の式を思い出させ立式させる</li> <li>問題から四捨五入することを確認させる</li> <li><math>1/100</math>の位をまで求めて四捨五入することを押しさえる</li> <li>割り切れなくなったことから、概数で求めていることを確認し、余りは意識させない</li> <li>定着が不十分な児童に個別指導をおこなう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>復習事項をもとに、立式する</li> <li>問題から<math>1/100</math>の位まで計算して<math>1/100</math>の位まで商を求めることを理解する</li> <li>課題提示</li> <li>商の見当をつける</li> <li>答えを出す(個人追求)</li> <li>商を四捨五入したことから、余りは求めないことをおさえる</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5時のノートや掲示物から</li> <li>面積÷よこ(たて)=たて(よこ)の言葉の式を思い出させ立式させる</li> <li>問題から四捨五入することを確認させる</li> <li><math>1/100</math>の位をまで求めて四捨五入することを押しさえる</li> <li>割り切れなくなったことから、概数で求めていることを確認し、余りを求めないことを考える</li> <li>定着が不十分な児童に個別指導をおこなう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値が整数の問題を解く</li> <li>問題提示</li> <li>復習事項をもとに、立式する</li> <li>筆算で計算し割り切れないことに気づき、あまりの表し方について考える</li> <li>課題提示</li> <li><math>1/100</math>の位を四捨五入し<math>1/10</math>の位まで求める</li> <li>商を四捨五入したことから、余りは求めないことをおさえる</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5時から</li> <li>面積÷よこ(たて)=たて(よこ)の言葉の式を思い出させ立式させる</li> <li>筆算で、小数点第5位まで計算させ割り切れないことをおさえる</li> <li>割り切れないときには四捨五入することを思い出させ、<math>1/100</math>の位を四捨五入させる</li> <li>割り切れなくなったことから、概数で求めていることを確認し、余りを求めないことを考える</li> <li>定着が不十分な児童に個別指導をおこなう</li> </ul>
9時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	少数でわる計算についての理解を深める		少数でわる計算についての理解を深める		少数でわる計算についての理解を深める	
評価規	小数÷少数についての問題を解くことができる					
問題	教科書30ページの問題に取り組もう					
課題	計算練習をして、少数のわり算を得意にしよう					
学習活動	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助
	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題を解く</li> <li>みんなで答え合わせをする</li> <li>定着が不十分のところにたしかなものにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導をしながら、定着が不十分な児童に個別指導する</li> <li>すべてできた児童をミニ先生として、教え合いをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題を解く</li> <li>全問理解できた児童からミニ先生となり教え合う</li> <li>定着していない問題を、全体で確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導をしながら、定着が不十分な児童に個別指導する</li> <li>定着が不十分な問題の、類似したものを用意しておく</li> <li>補充問題・発展問題を準備しておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題を解く</li> <li>みんなで答え合わせをする</li> <li>定着が不十分のところにたしかなものにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導をしながら、定着が不十分な児童に個別指導する</li> <li>すべてできた児童をミニ先生として、教え合いをする</li> </ul>

10時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	基準量が少数で表されているときも、比較量÷基準量で何倍かが求められることを理解する。また、倍を表す数が少数の時も、基準量は比較量÷倍で求められることを理解する		基準量が少数で表されているときも、比較量÷基準量で何倍かが求められることを理解する。また、倍を表す数が少数の時も、基準量は比較量÷倍で求められることを理解する		基準量が少数で表されているときも、比較量÷基準量で何倍かが求められることを理解する。また、倍を表す数が少数の時も、基準量は比較量÷倍で求められることを理解する	
評価規	少数を数直線に表し、基準量をもとに少数倍を考えることができる					
問題	次のような4本のテープがあります。白、青、黄色のテープの長さは、赤のテープの何倍でしょう					
課題	少数の計算を使って、何倍になるのか調べよう					
学習活動	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助
	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>問題から見通しを持ち式をたてる。</li> <li>課題提示</li> <li>計算の方法について個人追求する</li> <li>式から考える</li> <li>数直線から考える</li> <li>はかせどんの方法について考える</li> <li>全体交流</li> <li>0.8倍とは2.5mを1とみて2mが0.8にあたることを説明できる</li> <li>力試し問題に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比べる量÷もともになる量=もとの何倍</li> <li>式が3つ必要なこと、答えが3つ出てくることを押さえる</li> <li>言葉の式・数直線・筆算を使って求めさせる</li> <li>0.8倍とは2.5mを1とみて2mが0.8にあたることを説明できるようにする</li> <li>もともになる大きさはどちらであるかを注意して式を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数の問題への見通しをもつ</li> <li>言葉の式で考えさせる</li> <li>比較するもの÷基にするもの=もとの何倍</li> <li>問題提示</li> <li>数直線を用いて、白・青・黄・赤の関係を表す</li> <li>言葉の式をもとに立式する</li> <li>課題提示</li> <li>見当をつける</li> <li>筆算で計算し、答えを求める</li> <li>類題を解く</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値が整数になっている問題で言葉の式を考えさせる</li> <li>比べる量÷もともになる量=もとの何倍</li> <li>式が3つ必要なこと、答えが3つ出てくることを押さえる</li> <li>言葉の式・数直線・筆算を使って求めさせる</li> <li>定着が不十分な児童に個別指導をおこなう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復習問題をして本時の問題への見通しをもつ</li> <li>赤のテープは5mです。青のテープは10mです。青のテープは赤のテープの長さの何倍でしょう</li> <li>問題提示</li> <li>数直線を用いて、白・青・黄・赤の関係を表す</li> <li>復習問題の</li> <li>調べる長さ÷もともになる長さ=何倍</li> <li>の関係式を使って立式する</li> <li>課題提示</li> <li>筆算で計算し、答えを求める</li> <li>類題を解く</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値が整数になっている問題を解き、調べる長さ÷もともになる長さ=何倍であるかという言葉の式をもとめさせる</li> <li>復習問題と異なる部分を見つけ出し、数値が変わっても立式の仕方は変わらないことを理解させる</li> <li>数直線に関係を表し、視覚的にとらえさせる</li> <li>言葉の式をもとに、黄・青・白のテープの長さを求めさせる</li> <li>定着が不十分な児童に個別指導をおこなう</li> </ul>
11時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	基準量が少数で表されているときも、比較量÷基準量で何倍かが求められることを理解する。また、倍を表す数が少数の時も、基準量は比較量÷倍で求められることを理解する		基準量が少数で表されているときも、比較量÷基準量で何倍かが求められることを理解する。また、倍を表す数が少数の時も、基準量は比較量÷倍で求められることを理解する		基準量が少数で表されているときも、比較量÷基準量で何倍かが求められることを理解する。また、倍を表す数が少数の時も、基準量は比較量÷倍で求められることを理解する	
評価規	少数を数直線に表し、基準量をもとに少数倍を考えることができる					
問題	の家から駅までの道のりは、2.8kmです。これは、家からバスまでの道のりの3.5倍です。家からバスまでの道のりは何km					
課題	少数の計算を使って、何倍になるのか調べよう					
学習活動	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助
	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>問題から見通しを持ち式をたてる。</li> <li>課題提示</li> <li>計算の方法について個人追求する</li> <li>式から考える</li> <li>数直線から考える</li> <li>はかせどんの方法について考える</li> <li>全体交流</li> <li>力試し問題に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時との違いや似ていることを見つけさせることからもとの大きさがみえにくいことに気づかせる</li> <li>乗法の式から除法の式を立ててもよい</li> <li>もとの大きさが何であるのか数直線を使って説明ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題提示</li> <li>前時と比べて、本時は基になる量を求めることが分かる</li> <li>課題提示</li> <li>商の見当をつける</li> <li>言葉の式・数直線・筆算を使って求める(個人追求)</li> <li>説明し合う(ペア交流・全体交流)</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値が整数になっている問題を解き、基になる量を求めることを理解させる</li> <li>2.8÷ = 3.5 × 3.5 = 2.8</li> <li>どちらの考え方も認め、自分の解きやすい方で考えさせる</li> <li>を使って考える良さを押さえる</li> <li>前時を立式は違うが、基準量・比較量・調べるものの関係式は変わらないことを押さえる</li> <li>定着が不十分な児童に個別指導を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復習問題</li> <li>家から学校まで4kmです。この距離は、家からコンビニまでの距離の2倍です。家からコンビニまでの道のりは何kmでしょう</li> <li>問題提示</li> <li>数直線を用いて、家から学校、コンビニまでの関係を式で表す</li> <li>復習問題の</li> <li>もともになる長さ÷何倍=調べる長さ</li> <li>の関係式を使って立式する</li> <li>課題提示</li> <li>筆算をして答えを求める</li> <li>類題を解く</li> <li>練習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値が整数になっている問題を解き、基準になっている量(もともになる長さ)、比較量(何倍)、調べたいものを明らかにさせる</li> <li>前時と異なる部分を見つけさせる</li> <li>本時は、調べたいものの長さを求めることから、立式が前時と違うことに気づかせる</li> <li>復習問題の言葉の式から、立式し求めさせる</li> <li>前時を立式は違うが、基準量・比較量・調べるものの関係式は変わらないことをおさえる</li> </ul>
12時	グリーンコース		ブルーコース		オレンジコース	
ねらい	本単元で学んだことを振り返り、まとめることができ、学習してきたことをまとめることができ、定着していないところを確かなものにしようと努力することができる					
評価規	教科書33ページの問題に取り組もう					
問題	小数のわり算のまとめをしよう					
課題	小数のわり算のまとめをしよう					
学習活動	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助	主な学習活動	個の指導・援助
	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ問題を解く</li> <li>全問理解できた児童からミニ先生となり教え合う</li> <li>定着していない問題を、全体で確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導をしながら、定着が不十分な児童に個別指導する</li> <li>定着不十分な問題の、類似したものを用意しておく</li> <li>補充問題・発展問題を準備しておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ問題を解く</li> <li>全問理解できた児童からミニ先生となり教え合う</li> <li>定着していない問題を、全体で確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導をしながら、定着が不十分な児童に個別指導する</li> <li>定着不十分な問題の、類似したものを用意しておく</li> <li>補充問題・発展問題を準備しておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ問題を解く</li> <li>みんなで答え合わせをする</li> <li>定着していない問題を、質問し児童間で教え合いをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導をしながら、定着が不十分な児童に個別指導する</li> <li>定着不十分な問題の、類似したものを用意しておく</li> </ul>